

平成30年7月6日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役CFO 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成30年6月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成30年6月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成30年3月期											
	平成29年									平成30年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	469	488	449	404	489	539	483	482	607	552	499	562
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853	142,982	164,784	129,679
外国為替取引口座数 (単位：口座)	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873	311,645	313,167	314,547
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378	62,789	62,309	61,758
一般顧客	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367	57,073	57,628	56,966
金融法人（B to B）	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010	5,716	4,680	4,792
マネパカード口座数 (単位：口座)	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964	116,830	119,853	122,719

年 月	平成31年3月期											
	平成30年									平成31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	536	519	478									
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591									
外国為替取引口座数 (単位：口座)	315,872	317,341	318,698									
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,379	61,817	63,050									
一般顧客	57,653	57,015	57,840									
金融法人（B to B）	4,725	4,802	5,209									
マネパカード口座数 (単位：口座)	124,965	129,820	134,553									

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 6月次の概況 >

6月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル=108円台後半で取引が始まり、1日に発表された米国雇用統計が市場の予想を上回ると109円台後半まで値を上げた後、米国通商政策への懸念と12日に開催される米朝首脳会談を前に地政学リスク後退への思惑が交錯する中、緩やかなドル高の流れとなりました。その後、19日にトランプ大統領が中国製品に対する追加関税を検討している旨が報じられると、米中貿易問題激化への懸念から値を下げたものの、米中貿易問題激化を否定する米国高官の発言が相次ぐとドルが買い戻され、110円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、ECB政策理事会による早期利上げの否定等からユーロが大きく動くなど、総じて米ドル／円と比べ値動きの大きい相場推移となり、全体としての変動率は、前月を若干上回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円を中心に取引高が減少し前月比12%減少の1,015億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の取引高割合が減少するなど、全体としての収益性が若干改善した結果、前月比8%減少の478百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,357口座増加の318,698口座、マネパカード口座数は前月比4,733口座増加の134,553口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金も、顧客損益の回復等を背景に前月比825百万円増加の63,050百万円となりました。

以 上